

## 大原美術館 臨時休館のお知らせ

2020年4月9日(木)

公益財団法人大原美術館

代表理事理事長 大原あかね

代表理事館長 高階秀爾

いつも大原美術館の運営にあたり、格別のご高配を賜り心より御礼致します。このたびのコロナウィルス流行下にあたりましては、皆様それぞれに困難に直面なさっていることと推察いたします。

さて、本日は、大原美術館の臨時休館について皆様にお伝えしたいと思います。

コロナウィルス感染者が日に日に増えております。首都圏を始め7都府県に緊急事態宣言が出されました。幸い岡山県では感染者の数がまだ多くないので、県としての緊急事態宣言は出ていませんが、知事より週末の外出や県をまたいでの移動の自粛要請が出ている状況でございます。

このような中で、大原美術館は、感染源となる3密(密閉空間・密集場所・密接場面)には当たらない環境であり、職員もマスクの着用とアルコール消毒に努め、感染リスクを最低限に保ちながら開館を続けてまいりました。

美術館が安全であることには変わりはありませんが、感染拡大地域からの旅行者なども問題になっている社会情勢の中で、大原美術館が開館し続けることへの社会的責任が問われるようになってきていると思います。

もちろん、アートに触れる機会は人々が生きていく上には重要なもので、アートの存在を否定するものでは決してありません。また、いかなる時もお客様を受け入れ続けた美術館としての姿勢を崩すつもりもありません。

「どんな状況にあっても、アートを求める人にアートを届ける」それが大原美術館の一貫した姿勢であり、そのために活動を進めてきたのが大原美術館だと思っています。それでは、このコロナウィルス流行の現在、私たちが先人の思いをどのような形で引き継ぐのかについて熟慮を重ねた結果、今、私たちが為すべきことは、ウェブ上等のメディアを活用して人々とアートをつなぐとりくみを継続させつつ大原美術館としての発信を続ける一方で、お客様の安全を確かなものにする事、そしてウィルス感染の拡大防止に寄与することであると結論にいたり、4月11日(土)より当面のあいだ休館をすることといたしました。休館をいつまで続けるのかは、現時点では未定ではございますが、再開の目途が付き次第、できるだけ早く皆様にご連絡さしあげます。

状況が落ち着き、再開の暁には、皆様に「実物」のアートを存分にお楽しみいただくために、職員一同最善を尽くし努めていく所存でございます。

よろしくお願いたします。

末筆ではございますが、皆様もどうぞご安全にお過ごしくださいますようお願い申し上げます。